

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成21年5月7日(2009.5.7)

【公開番号】特開2007-264411(P2007-264411A)

【公開日】平成19年10月11日(2007.10.11)

【年通号数】公開・登録公報2007-039

【出願番号】特願2006-91107(P2006-91107)

【国際特許分類】

G 0 2 B 6/42 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 6/42

【手続補正書】

【提出日】平成21年3月18日(2009.3.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

光半導体素子を実装した基板と、
該基板上に取り付けたレセプタクルとからなる光モジュールにおいて、
前記基板は、複数の取付穴が形成され、
前記レセプタクルは、前記取付穴に挿入する複数の突起と、
前記光半導体素子を収容する収容凹部と、
光ファイバを挿入し、該光ファイバの先端を当接する先端面を有する挿入孔と、
該先端面と前記収容凹部の間において前記光ファイバの先端から出射した光または前記
光半導体素子から出射した光を反射する反射面とを透明な樹脂により一体的に成形したも
のであり、

前記取付穴の内周面と、前記突起の外周面との間に前記レセプタクルの位置決め調整用
のクリアランスを設けたことを特徴とする光モジュール

【請求項 2】

前記基板には、前記光半導体素子が複数実装され、
前記レセプタクルには、前記光半導体素子と同数の前記挿入孔が設けられ、
該挿入孔の前記先端面から前記収容凹部に至る一の光路と、該光路に隣接する他の光路
との間に、溝または光を反射若しくは吸収する部材を設けた請求項 1 に記載の光モジュール

【請求項 3】

前記挿入凹部における前記光半導体素子の光軸上に、凸レンズを取り付けた請求項 1 ま
たは請求項 2 に記載の光モジュール

【請求項 4】

前記反射面にミラーコーティングを施した請求項 1 から請求項 3 のいずれか 1 つに記載
の光モジュール

【請求項 5】

前記反射面が集光ミラーである請求項 4 に記載の光モジュール